ポットラック™ シリーズ

#FAG0301 ポットラック™ アウター
#FAG0302 ポットラック™ メッシュインナー

取扱説明書

この度は、ポットラック™をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、部品や使用方法の確認をしてください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

ご使用の前に

1. セット内容がすべてそろっているか、確認してください
セット内容は、本取扱説明書の裏面にございます。

2. 十分に設営の練習をしてください
実際のフィールドでご使用の前に、本取扱説明書を参照しながら、安全な場所で設営の練習を十分に行ってください。

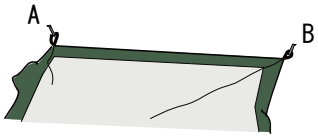
※目止めについて
本製品は、縫い目部分の目止めは行っておりません。構造上、縫い目から侵入した水が内部に垂れにくいようになっていますが、ご使用前に縫い目部分を目止めすることでさらに防水性を向上させることができます。目止めには一般的なテントなどで使用されるシームコート剤がご使用になれます。ポットラック™アウターに関しては外側から、ポットラック™メッシュインナーのフロア部分に関しては内側から、シームコート剤を塗布してください。

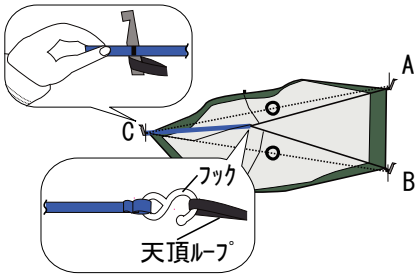
設営方法

設置場所には、できるだけ平坦で風の影響の少ない場所を選び、出入り口が風下側に向くようにします。また、万一豪雨や大雪等の悪天候に見舞われた場合に、落雷、水没、雪崩などの危険のない場所を慎重に選択してください。ペグダウンループは緩めた状態にしておきます。

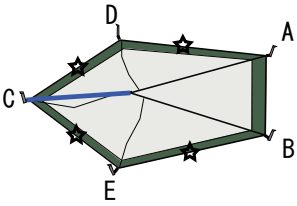
アウター＆メッシュインナーで設営

1. まず、メッシュインナーの最初の一辺をピンと張った状態で両端(A,B)をペグダウンします。

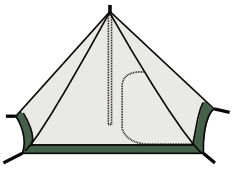




2. メッシュインナーの天頂ループに、設営ガイドテープ(青)のフックをかけ、末端のマークの位置に3か所目(C)をペグダウンします。設営ガイドテープ(青)がピンと張った状態で、ABC のペグが AC=BC となる二等辺三角形を作るようにします。

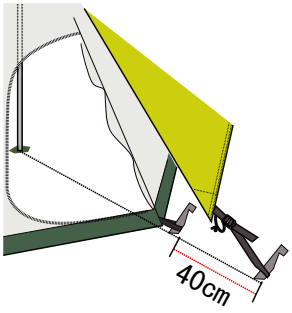


3. ☆印の付いた辺がピンと張るようにして、残りの 2 か所(D,E)をペグダウンし、フロアを固定します。



4. ポールを天頂部の補強部にあて、メッシュインナーを立ち上げます。フロアの補強部分に、ポールの下端のキャップが当たるようにしてください。ポールの長さは、各辺にしっかりとテンションがかかるように調整します。

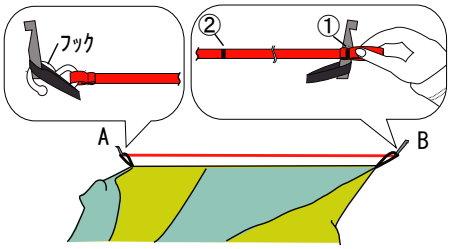
5. アウターをかぶせ、5か所のペグループをペグダウンします。ポール、メッシュインナーのペグダウン位置、アウターのペグダウン位置が一直線になるようにし、かつ40cm 程度離して打つのが目安です。

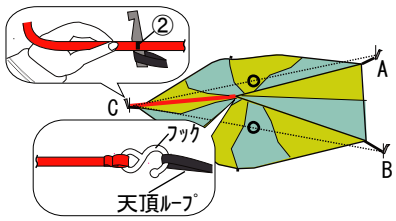


6. 各ペグダウン箇所のテンションを調整し、5つの辺に均等にしっかりとテンションがかかるように形を整えます。

アウターのみの設営

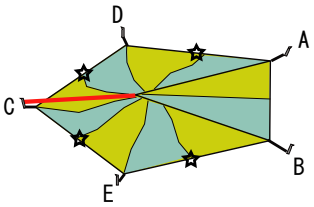
1. 設営ガイドテープ(赤)を使用し、最初の 2 か所(A,B)をペグダウンします。初めに片方をペグダウンし、ペグにフックを掛け、もう一方は設営ガイドテープの末端のマーク①の位置にペグが来るようにしてください。

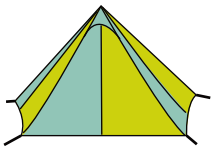




2. 天頂ループに設営ガイドテープ(赤)のフックをかけ、設営ガイドテープ(赤)の中間部のマーク②位置に 3 か所目(C)をペグダウンします。設営ガイドテープ(赤)がピンと張った状態で、ABC のペグが AC=BC となる二等辺三角形を作るようにします。

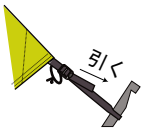
3. ☆印のついた辺がピンと張るようにして、残りの 2 か所(D,E)をペグダウンし、全てのペグの位置を決めます。





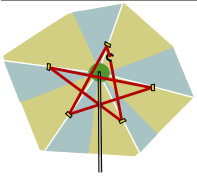
4. ポールを天頂部の補強部にあて、できるだけポールが垂直になるようにしてポールを伸ばしていき、アウターを立ち上げます。

5. 各ペグダウン箇所のテンションを調整し、5 つの辺に均等にしっかりとテンションがかかるように形を整えます。



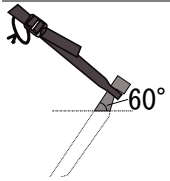
※設営ガイドテープ(赤)は、ステップ1では①の位置のマークを、ステップ2では②の位置のマークを使用してください。

設営ガイドテープをロフトとして利用



アウター及びメッシュインナー共に、設営ガイドテープを各辺の天頂付近につけられたループに通すことで、手袋などの小物を干したり、吊るしたりするロフトとして使用することができます。

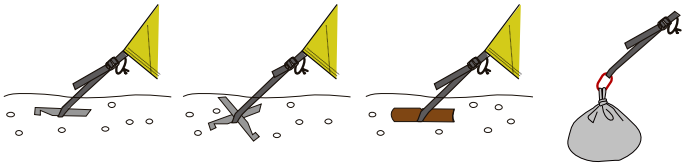
ペグの打ち方



ペグは地面に対して 60 度程度の角度で、ペグダウンループがペグに対して直角に近い角度になるように地面にしっかり打ちこんで下さい。ループをペグのアゴ部分にかけると外れにくくなります。柔らかい地面などでのペグダウンの方法については、「設営のコツ」を参照してください

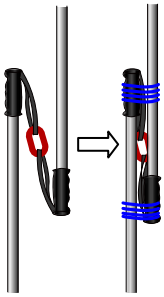
設営のコツ

＜雪上、砂上での設営＞



雪上や砂上での設営では、通常のペグの打ち方では支持力が不足し、固定することができません。ペグを横向き、もしくはクロスにして埋める(木の枝等も同様に使用できます)、竹ペグなどを使用する、袋に雪や砂を入れて埋める、などの方法で対応します。スキー板やピッケル、木の根、石なども活用できます。

＜他のポールを使って設営＞



アウター天頂部はターポリンで補強が施され、専用ポール以外にも、トレッキングポール、ストック、スキー、パドル、流木などを活用して設営が可能です。トレッキングポールやスキーポールは、ストラップ同士カラビナ等を使用して連結して上下を細引き・スキーストラップ等を利用して縛り、2 本を連結すると使いやすい長さになります。

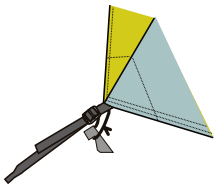
※メッシュインナーは必ず専用ポールで設営してください

※スキーポールなど、先のとがった鋭利なものをポールとして使用する場合は、先端に保護のためキャップをしてください。

＜雨天時・強風時の設営＞

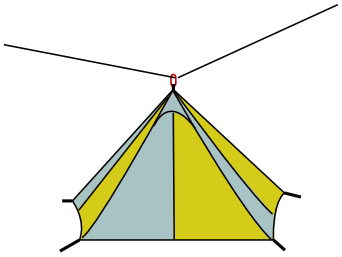
雨天時や強風時に設営する場合は、設営手順の最初(「アウター＆メッシュインナーで設営の手順1の前」)でメッシュインナーを広げた後、先にアウターをかぶせ、さらに強風時はペグで仮止めします。これによって、設営中のメッシュインナーの濡れや、風で飛ばされるリスクを抑えることができます。

＜ダイレクトにペグダウンして防風性アップ＞



アウターを手順に従って設営すると、アウターと地面の間に約 15cm 隙間ができます。より防風性、保温性を高めたい場合は、ペグループ根元にある小さなループを直接ペグダウンすることで地面とアウターを接するように設営することが可能です。(アウター単体使用時のみ)

＜吊り下げて設営＞



沢や樹林帯のように、上から吊るすことが可能なロケーションでの設営では、天頂部のループを使って吊り下げて設営することで、内部をより広く使うことができます。カラビナ等でアウターと連結することで、メッシュインナーの併用も可能です。

アクティビティ別活用例

＜登山・トレッキング＞

メッシュインナー併用時は、4～5 人が就寝可能。円形に近いフロア形状を利用し、車座になれば 8～10 人の大人数での宴会も可能な優れた居住性を持っており、グループでのテント泊の山行にも最適です。ツエルトやタープなどを併用して前室スペースを作れば快適なキャンピングテントに。一番大きなメッシュインナーでも重量は 0.8kg しかなく、総重量で約 2kg とソロテント並み、長期縦走時も重量負担を最小限に抑えることができます。

＜BC スキー・スノーボード＞

荷物を軽くして雪山での泊まりと滑りのどちらも楽しみたい、バックカントリースキー、スノーボードのシェルターとして最適。ストックをポール代わりに、アウターのみ使用すれば、わずか0.72kgで5，6 人までのワンパーティ収納可能なシェルターとなります。耐風性と保温性を高めるため、裾が雪面に接するようにペグダウンも可能。

それほど重量を気にせずベースキャンプ的に使用可能な場合は、メッシュインナー、付属のポールを併用してより快適に。その場合でも重量は約 2kg に抑えることができます。

＜沢登り＞

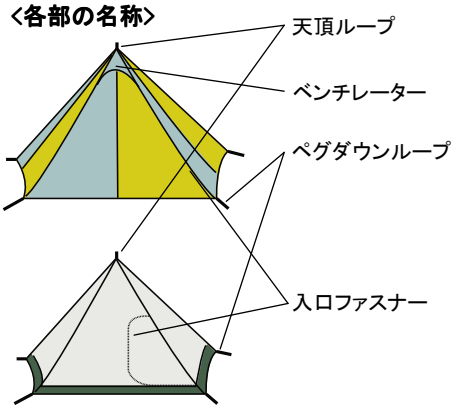
泳ぎや滝の登攀を行う沢登りでは、軽量化と開放的なビバークを楽しめるアウターのみの使用がお勧め。周囲の状況が確認しやすく、万が一の増水時でも脱出がスムーズにできます。

沢で豊富に手に入る流木を支柱にする、天頂部をロープでつるしてさらに内面を広く使うなど、設営方法も自在です。

アブなどの虫対策を重視する場合は、メッシュインナーを併用するとよいでしょう。

セット内容・各部の名称

＜各部の名称＞



＜ポットラック™ アウター セット内容＞

本体・袋

ボール・袋

ペグ(5 本)・袋

設営ガイドテープ(赤)

取扱説明書(本書)

＜ポットラック™ メッシュインナー セット内容＞

本体・袋

ペグ(5 本)・袋

設営ガイドテープ(青)

取扱説明書(本書)

安全上の注意

●火災発生や一酸化炭素中毒の恐れがあり、非常に危険ですのでテント内でコンロ、ランタン等の火器を使用しないでください。
●テント内では必ず換気を行ってください。特に降雪時など、ベンチレーターが塞がれていないか、確認してください。
●設営の際は、風雨、風雪の影響を受け難い場所を選んで、安全に注意して活用してください。

お手入れ・保管方法

●汚れや濡れたままで保管しますと、カビが発生して生地とコーティングに悪影響を与えます。
●ご使用後は泥などの汚れをよく落とし、ひどい汚れはスポンジ等を用いて真水で水洗いをして、陰干しで充分乾燥させてから保管してください。保管の際は直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管してください。
●ファスナーの泥汚れは破損の原因になります。常にきれいにしておき、定期的にシリコンスプレーなどを塗布すると、スムーズな動きを保つことができます。

株式会社finetrack
http://www.finetrack.com 0120-952-416